# 平成28年度 ★実施計画 個別評価シート (27年度事業の評価)

### 1. 事業の概要(Plan)

事業名  事業No	513	特別	特別支援教育推進事業											
総合計画	めざすまちの	姿 1	人が育っ	つまな	5					担当	当部	孝	教育委員会事務局	
一百一种	基本計画【施策	1	1 —	3子	どもの	可能性	生を伸	ばす		担当	当課		学校教育課	
即本る無利口	一般 会	10	款	教育	責費	01 項 教育		教育総額	务費	03	B	孝	数育指導費	
関連予算科目	予算事業名		本事業 事業1)	関係	経費		事業役 事業2		特	· 時別支援教育推進事業				
実施主体	市	実	施方法	市が	直接実施・	運営	対象		特定の市		nl)	市内小・中学校の児童生徒		
事業期間	開始年度	4	成18年	度	終了予定	年度		_						
事業の目的	学校における	学校における生活や学習上の困難を改善・克服するために、支援員を配置し、個に応じた支援を行う。												
事業の概要	※H25より	①小・中学校の状況に応じて支援員を配置する。 ※H25より、幼稚園については幼児教育課に移行。 ②支援員に対する研修会を開催し、資質向上を図る。 ③専門家による巡回相談を実施												

#### 2. 事業の実績(Do)

	サネの大領(と)												
	事業実績	事業実績 ①支援員を、小学校22名、中学校6名配置。 ②特別支援教育支援員研修会を開催 ③専門家による巡回相談を実施(年間24回) 個別に支援の必要な子どもが増えているが、各校に必要な支援員の数を配置できない。											
	課題	個別に支援の	ý要な子どもが増 <i>え</i>	ているた	が、各核	さに	必要な支援員の数を配置	置できない	١.				
			平成2	26年度	Ę		平成27年周	芰		平成28年	度		
	当初予算額		24,3	343	千円		24,438	千円	3	36,608	千円		
	事業費 (A) 決算 (見込) 額 23,85		352	千円		23,990	千円			千円			
コス	特定財源 財源内訳 ※国・県補助金など			O FF			0 千円		0		千円		
F	一般財源		23,	852	千円		23,990	千円	3	36,608	千円		
	人件費	(B)	1,	594	千円		2,228	千円		2,497	千円		
	人工(職員	員数の内訳)	(	).21 人			0.29	人		0.33	人		
	トータルコス	ト(A)+(B)	25,	446	千円		26,218	千円	;	39,105	千円		
活	内容				<b>並</b>		平成26年度	平成2	7年度	平成2	8年度		
動					目	票	30		30		30		
指	<u> </u>	回数		 実	結	23		24					
標				達成度			76.7%		80.0%				

### 3. 評価(Check)

	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》	必要性
総合判定	H25「学校教育法施行令」の改正に見られるように、特別支援教育は大変重要視されている。支援を必要とする児童生徒は増加を続けており、特別支援教育の推進が強く求められているため。	有効性 ++++++ 優先性 効率性

#### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今 後	事業の 方向性	継続
の方向性	今後の 取組内容 (課題に対する 改善等)	<ul><li>・研修等で支援についての理解を深めるとともに、指導員の増員なども検討しながら事業を継続していく。</li></ul>

# 平成28年度 ★実施計画 個別評価シート (27年度事業の評価)

# 1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	524	524 幼児ことばの教室													
総合計画	めざすまち	5の姿	1	1人が育つまち担当部教育								放育委員会事務局			
心 □ i □	基本計画【放	拖策】		1 —	③子どもの可能性を伸ばす							担当課			幼児教育課
明本マ笠利口	一般					贄費	01	項	教育	育総教	赞	03	Ħ	1/3	数育指導費
関連予算科目	予算事業	《名	基(	基本事業(事業1) 幼稚園教育指導関係経費 細事業名 幼児								り見ことばの教室			
実施主体	市		実	施方法	市が	直接実施・	運営		対象	2	特	定の	]市C	民	市内の4~5歳児の該当者
事業期間	開始年	度	平	成15年	度	終了予定	年度		,	_					
事業の目的	就学までは	t学までに教室の指導を通し、言葉の発達や吃音等軽度の遅れのある幼児の障害の軽減を図る。													
事業の概要	岡崎幼稚園 導する。	間崎幼稚園及び子育て支援センターを会場に、専門指導員が3~5歳児の比較的軽度の言語障害児対象に指導する。													

## 2. 事業の実績(Do)

•	·
事業実績	・岡崎幼稚園「ことばの部屋」:月〜金曜日の8:30〜12:00・13:00〜16:30に実施。 子育て支援センター:土曜日の8:45〜12:15に実施。 ・入級者数36名 → 退級者数 9名

#### 課題

					平成2	6年度	F Z		平成27年度	ŧ		平成28年	度
	-	事業費(A) 当初予算額		切予算額	2,139 千円			2,139	2,139 千円		2,209	千円	
	₽	₱未貝(A)	決算	(見込)額	2,0	78	千円		2,090	千円			千円
	] Z   F	特定財源 財源内訳 ※国・県補助金など		詩定財源 県補助金など		0 千円			Ο	千円		Ο	千円
ĺ		一般財源		2,078		千円		2,090	千円		2,209	千円	
	人	人件費 (B)		1,774 千		千円		1,814 千円			1,814	千円	
		人工(職員数の内訳)		内訳)	0	.24	人		0.25	人		0.25	人
		ータルコス	h (A)	) + (B)	3,8	352	千円		3,904	千円		4,023	千円
污	5	内容		内容		单	位		平成26年度	平成2	7年度	平成2	8年度
重		- = + \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- W . I . AAZ J	1+/2/D 24/D	0 72 to +1 1	%	目標	漂	50		50		54
指	<b>∮</b>	‡長該当児7	核当児が小学校通級学級へ通わな 率(退級率)		八通わない	/0							
			,				実統	績	42		54		
標	票					達成度			84.0%	1	08.0%		

#### 3. 評価(Check)

	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	必要性 <sub>**</sub>
総合判定	• 発音の改善を必要とする園児の入級希望があるため。	有効性(十十十十)優先性 効率性

### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後	事業の 方向性	改善(その他)
の方向性	今後の 取組内容 (課題に対する 改善等)	専門指導員を確保し、土曜日の実施について隔週から毎週に変更。

# 平成28年度 ★実施計画 個別評価シート (27年度事業の評価)

# 1. 事業の概要(Plan)

事業名 <sup>事業No</sup>	532	532 特別支援教育推進事業(幼稚園分)										
<b><u></u> </b>	めざすまちの姿	1 人が育っ	Oまち				担当	当部	教育委員会事務局			
総合計画	基本計画【施策】	1 —	③子どもので	可能性	生を伸ばる	す	担	当課	幼児教育課			
明本るながし	一般 会計	10 款	教育費	1	項教育	項 教育総務費		B	教育指導費			
関連予算科目	予算事業名	基本事業 (事業1)	基本事業 (事業1) 幼稚園教育指導関係経費 細事業名 (事業2) 特別支援教育推進									
実施主体	市	実施方法	実施方法 市が直接実施・運営 対象 特定の市民 公立幼稚									
事業期間	開始年度	平成18年	度 終了予定	年度	_	_						
事業の目的	幼稚園における	幼稚園における生活や学習上の困難を改善・克服するために、支援員を配置し、個に応じた支援を行う。										
事業の概要	・公立幼稚園の ・専門家による 公立幼稚園・ 公立幼稚園・	公立幼稚園の状況に応じて支援員を配置する。     専門家による巡回相談を実施 公立幼稚園・保育園:浜名特支コーディネーター10回 公立幼稚園:スクールカウンセラー12回										

### 2. 事業の実績(Do)

	事業実績		<ul><li>支援員を、</li></ul>	津幼稚園4名、	白須	貿幼科	隹園	1名、岡崎幼稚園3名	3、知波E	日幼稚園1	名、新居幼	椎園 1 名配
	課題		個別に支援の必要	でな子どもが増え	ているた	が、各	·校に	必要な支援員の数を配置	置できない	0		
				平成2	6年度	F		平成27年周	芰	<u> </u>	平成28年	度
	事業費(A)		当初予算額	9,4	-75	千円	3	9,556	千円		9,736	千円
	尹未貝(A)	決	算(見込)額	9,2	230	千円	3	9,123	千円			千円
크	特定財源 財源内訳 ※国・県補助金など			0	千円	3	千円		0		千円	
F	一般財源		一般財源	9,230		230 千円		9,123	千円		9,736	千円
	人件費(B			1,5	548	千円	3	1,210	千円		1,210	千円
	人工(職員	員数	(の内訳)	C	.21	人		0.16	人		0.16	人
	トータルコス	7	(A) + (B)	10,7	778 千円		3	10,333	千円		10,946	千円
活	内容			绀	位		平成26年度	平成2	7年度	平成2	8年度	
動						E	]標	24		24		24
指	巡回他談員の司司回数			I女X			<b></b> 長績	24		24		
標						或度		100.0%	1	00.0%		

# 3. 評価(Check)

A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
《判定理由》	必要性
・対象児童の増加により、支援員の拡充が望まれる。	
	有効性
	《判定理由》

#### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

	The state of the s		
今後	事業の 方向性	改善(その他)	
の方向性	今後の 取組内容 (課題に対する 改善等)	個別に支援の必要な子どもが増えているが、各校に必要な支援員の数を配置できない。	